



すが わら よし かず
菅 原 由 和
(爽志会)

●インターネット依存・トラブルから子どもたちを守れ
●競馬場を積極的に活用した観光振興を

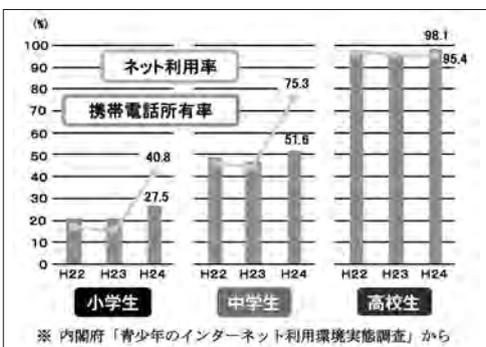
教育委員長 市内の実態を詳細に把握した上で対策を検討していく必要があると考えており、保護者も含めた調査を実施していく。

また、具体的な対策については、今後十分に検討を重ね、保護者や関係機関と共に取り組みを進めていく。

質問 インターネット利用に関する依存やトラブル、いじめ等、青少年への影響を危惧している。早期発見、早期予防のためにもしっかりと実態把握をするともに、学校・保護者・関係機関が連携して対策を講じていくべきと考えるが。

教育委員長 抽出調査では、所有状況は、小学生10%、中学生20%。利用時間は、小学生で「30分以内」と「30分～1時間」が共に30%、中学生では、「30分以内」「30分～1時間」「1時間～2時間」「2時間～3時間」がそれぞれ24%という状況。長時間利用による生活の乱れや、想定外のトラブルに巻き込まれる危険性について危惧している。

質問 市内小中学生の携帯電話やスマートフォン所有状況と1日の利用状況は。また、その状況を教育委員会としてどうとらえているのか。



全国小中高生の携帯電話所有率とインターネット利用率

また、競馬組合の出方を待つのではなく、当市からも様々な角度から施策を提案していく。

市長 まずは、経営の安定化を第一義に考え、各種誘客事業を進めているのが現状である。しかし、多くの方に競馬場に足を運んで頂くことは、競馬振興のみならず観光客誘致にも寄与することにつながる。考えを限定せずあらゆる方向で検討していく必要があると考えている。

質問 競馬事業の活性化と奥州市の観光振興のためにも、競馬場は、キャンセル施設からレジャー施設や観光施設へと移り変わっていく必要があるのではないか。水沢競馬場を積極的に活用した施策を検討すべきと考えるが。

請願等の審査内容

9月定例会において付託のあった請願及び継続審査となっていた請願について、所管常任委員会及び特別委員会で審査しました。審査結果は次のとおりです。

番号	請願名	請願者	審査内容	審査結果	所管委員会名
請願第36号 平成24年12月、25年3月、6月定例会で継続審査	バス交通計画についての請願	奥州市胆沢区小山字弁天堤下3-22 小野寺 勉 ほか1名	請願の内容が実行性に乏しく、市の負担も大幅に増えることが予想されることから、不採択。	不採択	総務委員会 総務委員
請願第38号 平成25年3月、6月定例会において継続審査	岩手県南広域振興局の誘致についての請願	奥州市江刺区大通り1-61 江刺地区振興会長連絡協議会 会長 廣野 雅喜 ほか1名	請願の願意を汲み、採択。なお、次の意見を附すことに決した。「近隣の市町・市町議会の理解を得るよう十分に配慮すること」及び「市内全区民の理解を得るよう十分に努力すること」	採択	岩手県南広域振興局の誘致について請願審査特別委員会
請願第41号	奥州市医療改革プランの策定にあたっての請願	前沢区住民自治組織連絡協議会 会長 鈴木 秀悦 ほか3名	請願者からの説明等を受け、請願の願意については充分理解できることから、全会一致で採択。	採択	市立病院・診療所改革プラン調査特別委員会
請願第42号	私学教育の充実・発展についての請願	私学助成をすすめる岩手の会 会長 新妻 二男 ほか1名	教育費の公私の格差や少子化などにより生徒数が減少傾向にあるなど、私学教育を取り巻く現状は大変厳しい状況にあり、国や県からの助成は更に必要であるとの観点から、その願意を了とし、全会一致で採択。	採択	教育厚生委員会 教育常任委員
請願第43号	少人数学級の推進など定数改善、義務教育費国庫負担制度2分の1復元に係る意見書採択を求める請願	岩手県教職員組合 胆江支部 支部長 三好 浩史	教育環境をしっかりと考え、少人数学級を推進すべきであること、また国庫負担制度の2分の1復元については教育の機会均等と水準の維持向上を図るためには必要なことであるとの観点から、採択。	採択	教育厚生委員会 教育常任委員会